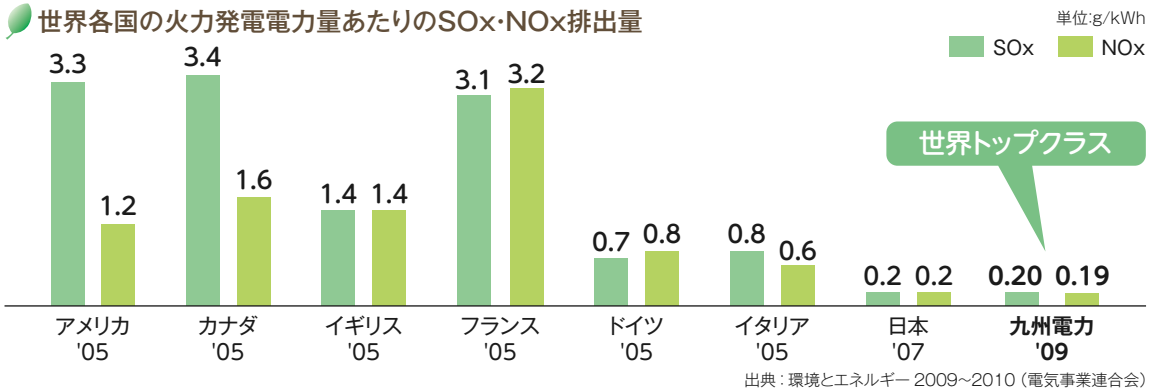


きれいな空気と生き物を守る。

世界最高水準の大気汚染対策を行っています。



● SOx(硫黄酸化物)

SO₂ (二酸化硫黄) や SO₃ (三酸化硫黄) などの総称。石油や石炭などの硫黄分を含む化石燃料の燃焼時に、硫黄分が酸化されて発生する。酸性雨の原因となるほか、人体に悪影響を及ぼす。

● NOx(窒素酸化物)

NO (一酸化窒素) や NO₂ (二酸化窒素) などの総称。窒素を含む燃料の燃焼のほか、燃焼時に空気中の窒素が酸化されて発生する。酸性雨や光化学スモッグの原因となる。

火力発電所から排出される大気汚染物質 (SOx・NOx等) の排出を低減するため、さまざまな対策を行っています。

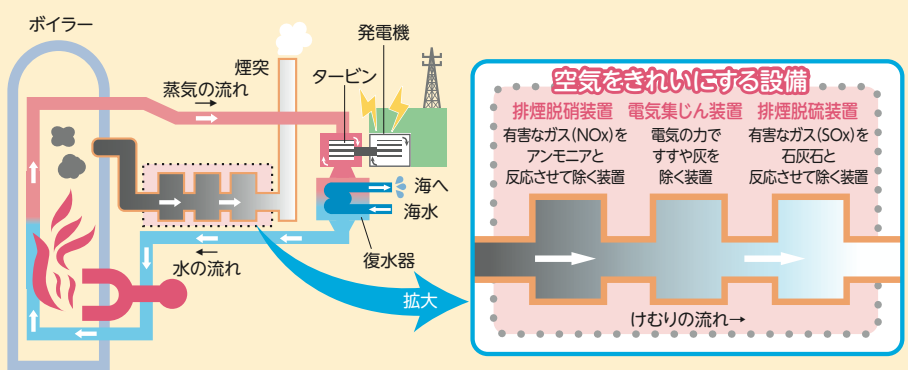
SOxの原因となる硫黄分の少ない燃料を使用 	SOxや、ばいじんの発生がなく NOxの発生が少ない 液化天然ガス(LNG)を使用
大気汚染物質の発生が少ない 燃焼方式を採用 	排ガス中から大気汚染物質を除去する高性能装置の設置

ご存知ですか?

火力発電所からの排ガスをきれいにするしくみ。

ボイラーから出た排ガスは、排煙脱硝装置・電気集じん装置・排煙脱硫装置等で大気汚染物質を除き、きれいにしてから大気中に放出します。

火力発電所の煙突から出ている白い煙のようなものは、ほとんどが水蒸気なのです。





発電所などの設備運用における大気汚染対策や、生物多様性の保全対策など、地域環境の保全に取り組んでいます。

周辺の景観などに配慮した設備形成を行っています。

設備形成にあたっては、周辺の自然環境や都市景観への配慮などを行っています。

大分県内の地中化路線



地中化前



地中化後

生物多様性の保全に取り組んでいます。

九州の豊かな自然環境を将来にわたって守り続けていくため、生物多様性の保全に取り組んでいます。

「女子畑いこいの森」におけるタコノアシの保全

「女子畑いこいの森」(16ページ参照)に自生しているタコノアシ*について、生育地を保護しながら、増殖に向けた研究を行っています。



タコノアシ

*ユキノシタ科の多年草で、環境省版レッドリストに掲載されている準絶滅危惧種。

社有林の適正な管理

4,448ヘクタールの社有林を適切に管理し、水源かん養やCO₂の吸収など、森林の持つ公益的機能(15ページ「ご存知ですか?」参照)の維持・向上に努めています。



社有林(山下池周辺(大分県由布市))

ご存知ですか?

生物多様性とは。

多種多様な生物が、地域固有の自然の中でお互いに関わり合っている存在していることです。

生物多様性の保全と持続的な利用を行うため、国連環境開発会議(リオサミット)で1992年に採択された生物多様性条約では、生物多様性を3つ(生態系・種・遺伝子)の多様性のレベルで捉えています。



生態系の多様性

森林、河川、湿原など、さまざまなタイプの自然があること。



種の多様性

動植物から細菌などの微生物にいたるまで、さまざまな生物が生息していること。



遺伝子の多様性

同じ種でも異なる遺伝子を持つことにより、形や模様、生態などに多様な個性があること。

